

〔高木間植栽に適した街路樹用樹木に関する研究〕  
都道に高木間植栽されている中木の生育および品質評価

長嶋大貴・佐藤澄仁  
(緑化森林科)

---

【要 約】東京の街路ではハナズオウ、ソヨゴ、ハナモモ、トキワマンサクなどの中木樹種が高木間植栽に多く利用されていた。高木間植栽されているソヨゴ、カラタネオガタマは比較的傷みが少なく、高木間植栽に有望である。

---

【目 的】

現在、東京の街路では「2020年の東京」で目標となっている街路樹100万本を達成するために高木間植栽が行われている(図1)。しかし、現時点で植栽されている中木樹種の高木間植栽への適性は不明である。そこで、現在までに都道に高木間植栽された中木樹種の生育量や品質について調査を行う。

【方 法】

2013年5月23日、6月18日、7月11日、10月28日に、都道に高木間植栽されている中木を対象に調査を行った。調査箇所ごとに中木1樹種につき5個体程度について、樹冠部上の光量子量と近くの遮光されていない場所の光量子量を測定し、中木に照射されている光の遮光率を算出した。生育状態の調査として樹高と枝張の測定を行い、目視にて傷み程度の評価を行った。

【成果の概要】

1. 48地点での調査の結果、高木間植栽が行われている街路で多かった高木はイチョウ、プラタナスに次いでサクラ、トウカエデなどであった(表1)。中木樹種として24樹種の調査を行い、多く見られたのは、ハナズオウ、ソヨゴ、ハナモモ、トキワマンサク、カラタネオガタマ、ハナカイドウであり、その他にシャクナゲ、ムクゲなどの樹種がみられた(表2, 3)。
2. 中木に照射されている光の遮光率を測定した結果、遮光率0%の場所から遮光が90%以上の場所など様々な遮光率の場所がみられた(表2)。隣り合う中木でも遮光率が大きく異なる場合があり、わずかな植栽場所の違いや時間によって遮光率は変化すると考えられた。高木間植栽された中木は、極めて複雑な光環境の中で生育している場合が多いことが明らかになった。
3. 3地点以上で調査を行った中木6樹種において、ソヨゴ、カラタネオガタマ、ハナカイドウは傷み程度が小さかった(表2)。ただし、今回の調査でみられた傷みの原因は、植栽時の環境の変化や乾燥などの光環境以外の要因も考えられる。また、カラタネオガタマ、ソヨゴは枝張が100cm程度であり、枝があまり横に広がらないため、剪定等の管理の回数が少なく済むと考えられる。
4. まとめ：高木間の光条件は場所によって大きく異なり、それぞれの光条件にあった樹種の植栽を行う必要がある。実際の街路で傷み程度の少ないカラタネオガタマ、ソヨゴは低照度の高木間植栽に適した樹種であると考えられる。

表1 調査箇所の高木樹種

高木樹種	調査箇所数	備考
イチョウ	16	新青梅街道、中野通り、301号線、435号線、118号線、235号線、中原街道、山手通り、目黒通り
ブラタナス	10	蔵前橋通り、新大橋通り、436号線、目白通り、中原街道、環七通り
サクラ	3	中野通り、新小金井街道、内堀通り
トウカエデ	3	方南通り、環八通り
ヤマボウシ	3	青梅街道
ユリノキ	3	外苑西通り
クロガネモチ	3	平和橋通り
エンジュ	3	中原街道
モミジバフウ	2	環八通り、鶴川街道
アオギリ	2	環八通り
サルスベリ	1	明治通り
ハナミズキ	1	455号線
ケヤキ	1	新青梅街道

表2 植栽場所の光環境と中木の生育状況

中木	通り	所在地	高木	遮光率 (%)	傷み程度 <sup>a</sup>	樹高 (cm)	枝張 (cm)
ハナズオウ	青梅街道	中野区	ヤマボウシ	0	0	219.0	95.2
	平和橋通り	葛飾区	クロガネモチ	8.1	0	208.2	97.3
	外苑西通り	港区	ユリノキ	62.9	0	242.0	197.6
	中原街道	大田区	ブラタナス、エンジュ	70.5	30	225.8	147.4
	山手通り	品川区	イチョウ	74.5	0	223.0	185.8
ソヨゴ	118号線	世田谷区	イチョウ	89.0	5	197.8	145.8
	235号線	日野市	イチョウ	89.8	10	224.0	141.8
	方南通り	杉並区	トウカエデ	13.7	0	199.0	91.8
	環八通り	杉並区	トウカエデ、モミジバフウ	33.0	5	227.8	97.2
	内堀通り	千代田区	サクラ	58.5	0	230.2	182.6
ハナモモ	中原街道	大田区	エンジュ、ブラタナス	78.2	0	145.8	115.8
	山手通り	品川区	イチョウ	92.9	0	169.4	94.0
	平和橋通り	葛飾区	クロガネモチ	14.1	10	209.0	38.3
	環七通り	江戸川区	ブラタナス	18.5	15	204.8	48.0
	中野通り	中野区	イチョウ	35.8	0	388.0	288.0
トキワマンサク	環八通り	大田区	アオギリ	49.9	10	224.0	163.6
	目白通り	練馬区	ブラタナス	70.3	5	194.4	59.4
	新青梅街道	練馬区	イチョウ	0	0	182.8	49.0
	436号線	豊島区	ブラタナス	66.7	0	218.6	102.8
	中原街道	品川区	イチョウ	68.3	10	221.0	103.2
カラタネオガタマ	中野通り	中野区	サクラ	72.8	30	160.0	49.8
	新青梅街道	練馬区	イチョウ	0	0	180.0	90.2
	目白通り	練馬区	ブラタナス	67.0	0	179.4	59.8
	青梅街道	杉並区	イチョウ	88.2	0	203.3	118.3
	青梅街道	中野区	ヤマボウシ	0	0	253.0	124.8
ハナカイドウ	455号線	北区	ハナミズキ	0	0	242.8	170.8
	蔵前橋通り	台東区	ブラタナス	44.3	0	186.8	98.3

a) 枯れ無しを0、小枝の枯れを1、太い枝の枯れを2、大部分の枯損を3、枯れを4とし、傷み程度の評価を行った。  
 $(0 \times \text{個体数} + 1 \times \text{個体数} + \dots + 4 \times \text{個体数}) / (4 \times \text{個体数}) \times 100$

表3 その他に植栽されていた中木

中木樹種	通り
シャクナゲ	新青梅街道、外苑西通り
ムクゲ	新大橋通り、鶴川街道
フェイジョア	目黒通り
ガマズミ	青梅街道
ナンテン	方南通り
イボタ「シルバープリペット」	新小金井街道
ロウバイ	平和橋通り
ヤマボウシ	301号線
ライラック	435号線
ヒメイチゴノキ	明治通り
ウメモドキ	鶴川街道
ギンバイカ	外苑西通り
ヒュウガミズキ	中原街道
ドウダンツツジ	中原街道
マサキ「オオサカベッコウ」	環八通り
セイヨウナナカマド	目黒通り
モッコク	目黒通り
トウネズミモチ「トリカラー」	目黒通り



図1 高木間植栽の様子

千代田区内堀通り 中木：ソヨゴ 高木（手前）：ユリノキ  
 高木（奥）：サクラ